

【大分県】

市町村名	Q9	Q10	Q11
大分市		多重債務者を発見しやすい部署との連携を強化し、多重債務者と思われる方を相談に誘導するよう努める。	専門的な知識が少ない。専門家(弁護士、司法書士)との連携方法を整備してほしい。
別府市			・平成19年12月に県が弁護士会と合同で「多重債務相談ウィーク」を実施したが、あのような相談会を再度実施してほしい。その場で専門家に引き継げ、相談者が何度も足を運ばなくて済んだ。・弁護士会や法テラスで無料法律相談を実施するときは自治体にも情報を提供してほしい。
中津市			現状では、行政職員が相談業務を行っている状況で、他の仕事との掛け持ちなので十分な対応ができない。専門の相談員の設置を要望
日田市	多重債務相談(全国一斉)ウィークの広報	市役所内の関係各課で多重債務連絡会議を定期的開催している。	H19年8月に多重債務問題連絡会議を立ち上げた。引き続き会議を継続しながら弁護士会等とも連携を取り、セミナーや担当者レベルでの研修会等を開催していきたい。
杵築市		平成20年度から、週1回専門の相談員が県から派遣される。それと併せて、多重債務問題を市役所でも相談できるということを周知していく予定である。	アンケート回答対象期間の多重債務に係る相談は0だった。これは実際に0だったというより、市民だけでなく、同じ市役所の中で情報交換すべき他課に対しても周知がされておらず、結果として生活保護等の相談者の中から見逃しがあったのではないかと懸念がある。多重債務問題を含む消費者問題について、市の職員を含めて、個人的な問題であり、個人で解決すべきという風潮も根強くある。
宇佐市			多重債務無料相談ウィークの開催希望
豊後大野市	「無料相談会」の実施を各戸回覧を行い広報した。	平成20年度、県の消費問題窓口支援事業に取り組む。	多重債務に陥っている方は、税金等の滞納者とダブるケースが多い様にある。関係課と連携して事前に多重債務及び滞納者をふせぐことができればと思う。
由布市		各庁舎での広報チラシ配布	専門的な知識のある人員確保
国東市			市で相談窓口を設置しても、小さい市のため知り合いに会うなどで来庁しにくい。
日出町		役場内での他部署との連携体制を確立するための連絡会議の開催を検討している。	
九重町			専門職員がおらず、その場での的確なアドバイスができないため、県や弁護士と合同で定期的に相談窓口日を設置して欲しい。

【大分県】

市町村名	Q9	Q10	Q11
玖珠町	多重債務無料相談会のポスター・チラシ庁舎内、外部配布		